

清月記 SPECIAL対談

第27回 佐藤万里子さんが語る「女性の生き方」

酒類、飲料水、食料品販売と店舗コンサルタントなど、東北で約4000社の取引先を持ち、業界をけん引している(株)カネサ藤原屋の副社長として活躍する佐藤万里子さん。そのバイタリティの原点をお聞きしました。



佐藤 万里子さん
さとう・まりこ

1958年(昭和33年)、小学校教員だった父木戸堅治氏と母君子さんの長女として、仙台市青葉区花壇に生まれる。
 ●東北学院大学文学部英文科卒業後、1981年、ジャーディン・マセソンアンドカンパニージャパンリミテッドに入社。
 ●1984年、東北学院大学の同級生で、カネサ藤原屋前社長の佐藤章治氏と結婚を機に、同社に入社。2007年、章治氏の逝去(享年48歳)に伴い、同年6月、代表取締役副社長に就任。
 ●2015年から仙台商工会議所女性会会長、東北六県商工会議所女性会連合会会長、宮城県商工会議所女性会連合会会長、全国商工会議所女性会連合会常任理事のほか、仙台経済同友会常任理事、公益社団法人仙台北法人会女性部会幹事、仙台北税務署国税モニターなど、多くの公職もこなす。

「勇気をもって一步を踏み出してほしい」



菅原 裕典
すがわら・ひろのり
1960年宮城県塩釜市生まれ。83年東北学院大学経済学部経済学科卒業。83年名古屋・中京葬儀社入社。85年3月、父・清一とともにすがわら葬儀社設立。89年仙台メモリアルサービス設立、社長就任。2000年工ボックセんだい設立、社長就任。01年社会福祉法人無量壽会理事長就任。01年せんだい泉工フエム放送取締役。01年(株)清月記社長就任。10年宮城学院中学校・高等学校父母教師会会長就任。

「ワインで頑張ってる」。亡き主人からのメッセージ

菅原 佐藤さんは、副社長として、バリバリと仕事をされていますね。
 佐藤 結婚当初は、両親や主人が仕事の後、灯りのついた暖かい家に帰りたいのではありませんが、一緒に仕事もしてほしいと母からお願ひされ、会社に出ながら子育ても楽しみました。

菅原 ご主人の章治さんを10年前、48歳とお若くして亡くされました。大変だったでしょうね。
 佐藤 急逝でしたので、生活もしながら会社としての対応もしなければいけませんので、毎日に追われていました。時間が瞬く間に過ぎて、食事もただ生きていくために食べているという、状態

た。同クラブは、海外から日本に來られる留学生などをサポートするボランティア組織です。
 菅原 最近の大きな仕事のひとつとして、佐藤裕司社長とともに、新社屋の建設も実現されました。

佐藤 ちょうど創業100周年の時期に重なり、倉庫も社屋も手狭になりましたので、適地が見つかり16年早々に移転新築いたしました。
 菅原 多くの課題を抱える中で、社業を伸ばされている象徴だと思います。会長、前社長、そして現社長と社員の方々のお互いの力の結集の成果だと、感嘆しております。
 佐藤 時代とともに業界も大きく変化していますが、先代から、良いものは残して、変えていかなければいけないものはどんどん変えていくという方針でした。



ジャーディン・マセソンで働いていた頃、新しいウイスキーの発表パーティで先輩社員と一緒に

「社員は経営者の姿をみながら育っていく」

菅原 会社の創業精神や歴史は変えることはできませんが、グローバル化やスピード感など、次代の要請が波のように毎日、経営者に襲ってきます。何から手をつけていけば良いのかわからなくなるときがありますが、そこで足踏みしては企業は継続し



結婚前に佐藤章治(故人)氏とともに

が続きました。本当に元気がなくなっていました。そんな時間が過ぎ、あるときテイスティングでワインを口にしたのですが、その芳醇で柔らかい味が口の中に広がりました。主人から「貴方は、ワインで頑張ってくれ」と言われたような感じがしたので、社員の方にこのことを話しましたら、それは社長からのメッセージではないでしょう

うか、と言われました。仕事を一緒に始めたとき、主人からは、これからはワインの時代だから、ワイン部門を任せたいと言われていました。
 誰でもがワインを楽しめるワインハウスBOUCHON(ブウシヨ)を、JR仙台駅東口の宮城野区元寺小路に20年前にオープンしていましたから、仕入れや店舗の責任者として業務に携わっていました。
 菅原 家庭も仕事にも一生懸命に関わられていたのですね。
 佐藤 当時は、会社の仕事が必要ならば私自身、精神的にどうなっていたのかと思いま



清月記本社で

せん。その点から見ると、御社の新社屋建設は、まさに次世代の成長を見据えた事業なのですね。
 佐藤 ありがとうございます。
 菅原 ストレス発散はどのようにされていますか。
 佐藤 私は、一日寝ると嫌なことは忘れるタチなので、強いて言えば、6年前から週に2回、約1時間のヨガを習いながら行っていることで、ストレス発散になっているかもしれません。

菅原 仙台経済同友会では数少ない女性の常任理事です。
 菅原 会社でも経営トップの一人が女性ということ、女性社員にとっても安心です。親の背中を見て子どもは育つとありますが、社員の方々は、活躍に期待できますね。
 佐藤 働きやすい環境づくりに力を入れていきます。
 菅原 最後に女性のためにメッセージをお願いします。
 佐藤 考える前に、勇気を持って一步を踏み出してほしいということです。
 菅原 今後もご活躍を期待しております。

予約制レストラン
「メゾンドリア・フィユ」
Maison [メゾンドリア・フィユ]
de RIAFEUILLE
パーティ人数 着席2~80名、立食2~120名

貸切パーティーのご予約は下記までお問合せください
完全予約制
TEL: 022-714-1122
https://www.ria-feuille.jp/mdr/

仙台市青葉区一番町2-7-12
グリーンウッド仙台一番町12F
(火曜日定休)

清月記グループ